

令和4年度 学校評価 報告書



旭市立琴田小学校

令和5年3月3日

令和4年度学校評価について

1 目的

- ①本校の教育活動等の成果を検証し、必要な修正や改善を行い、児童がより良い教育活動を享受できるように学校運営の改善と発展を目指し、教育の水準の向上と保証を図る。
- ②学校運営に関して、学校が適切な説明責任を果たすとともに、学校の状況に関する共通理解を持つことにより、家庭・地域との連携協力の促進を図る。
- ③学校運営全般について評価を行い、その評価結果等を広く保護者等に公開する。

2 方法

- ・自己評価の元になる資料収集のため、児童、保護者、教職員向けアンケートを実施しました。ご協力ありがとうございました。
- ・アンケート等の結果を集計、分析、考察し、評価を実施しました。
- ・考察、評価から今後の学校運営に関しての対応をまとめました。
- ・この結果は、保護者、学校評議員、学校ホームページに公開されます。

3 アンケート結果の処理について

肯定的（％）は、質問に対する（とても思う：4　思う：3）の人数の割合です。
否定的（％）は、質問に対する（あまり思わない：2　思わない：1）の人数の割合です。

評価（点）は、質問に対する回答を次の式で処理したものです。

式：各質問の回答の平均値/4×100

例)

1 児童は授業に取り組む姿勢・ルールが身についてきている。

（とても思う：4　思う：3　あまり思わない：2　思わない：1）で回答
とても思う　：4・・・18名　4×18=72
思う　　　　：3・・・2名　3×2=6
あまり思わない：2・・・2名　2×2=4
思わない　　：1・・・2名　1×2=2

上の平均値は、 $(72+6+4+2) \div 24人 = 3.5$ 　　 $3.5 \div 4 \times 100 = \underline{87.5} \rightarrow \underline{\text{評価（点）}}$

自己評価の資料として

十分達成○（75以上）　要努力評価△（75未満）　不十分達成×（60未満）
としてあります。

目次

自己評価と対応	1 ページ ～ 5 ページ
1 保護者アンケート結果	6 ページ
2 児童アンケート結果（低学年）	7 ページ
3 児童アンケート結果（高学年）	8 ページ
4 職員アンケート結果	9 ページ
学校関係者評価	10 ページ
アンケート記述欄	11 ページ ～ 13 ページ

自己評価と対応

※自己評価は、A:十分に達成 B:ほぼ達成 C:やや不達成 D:不達成とし、保護者アンケート、児童アンケート、職員アンケート等を評価の参考としています。
 ※各アンケートは(回答の平均/4*100点)として集計し、十分達成(75点以上):○
 要努力評価(75点未満):△ 不十分達成(60点未満):×で標記しました。

◎ 本年度の最重点目標について

1	授業に取り組む姿勢・ルールを職員・児童が共通理解し、徹底することで学習習慣を確立する。	評価	A
2	図書館司書と連携し、読書活動を推進する。読書の苦手な児童に対して、効果的な指導・支援を実施する。	評価	B
3	家庭学習の充実を図る。実態調査に基づく対策、タブレット端末の効果的活用等を実施する。	評価	A
4	豊かな人間関係を構築するため、あいさつ運動・親切運動、ボランティア活動、勤労体験等を通して、思いやりや互いの個性を認め合う心を養う。	評価	B
5	進んで運動に取り組み、運動の楽しさを知るため、運動の日常化と体力向上を図る。	評価	A
6	学校・家庭・地域と連携し「開かれた学校」を推進する。児童一人一人の状況について家庭との連携を密にする。	評価	A
7	公正で効率的な職務の遂行とコンプライアンスを徹底し、「働き方改革」の推進、職員の「不祥事ゼロ」を実現する。	評価	A

○進んで学習する子どもについて

1	児童は授業に取り組む姿勢・ルールが身についてきている。								評価	A	
	アンケート対象		評価	アンケート対象		評価	アンケート対象				評価
	保護者		○	低学年児童		○	高学年児童				○

昨年度の課題でしたが、今年度は最重点目標として学校全体で取り組みました。職員間の共通理解を図り、具体的な内容を学級掲示物として教室前面に掲げ児童への意識化を図りました。学力も向上しました。

来年度に向けて、「主体的で深い学び」が実践できるよう授業改善に努めていきます。

2	宿題や家庭学習の習慣が身に付いてきている。					評価	A	
	保護者	○	低学年児童	○	高学年児童	△	職員	○

低学年から高学年になるにつれ評価が下がっています。また、職員の意識と保護者の意識にずれがあります。家庭での過ごし方について家庭生活アンケートを実施しました。家庭での生活時間におけるゲームやYou tube視聴などの割合が多いことがわかりました。特に、高学年になるほどこの傾向が顕著になっています。対策として、後期は、ゲームやネット依存に対応した授業を実施しました。課題としては、コロナ禍で家庭への啓発・啓蒙活動が実施できなかったことですが、来年度は実施する予定です。

3	学校は、学習の基礎・基本となる計算や漢字などが身に付くように指導している。	評価	A
---	---------------------------------------	----	---

保護者	○	低学年児童	○	高学年児童	○	職員	○
-----	---	-------	---	-------	---	----	---

高学年に向けて、習得しなければならない計算スキルや漢字が多くなり、授業の内容も多くなってきます。高学年ほどゲームやYou tube視聴に費やしている時間が長いということがわかりました。対策として、後期は、ゲームやネット依存に対応した授業を実施しました。課題としては、コロナ禍で家庭への啓発・啓蒙活動が実施できなかったことですが、来年度は実施する予定です。また、朝自習の時間を活用し、計算や漢字の繰り返し練習を行っていく予定です。

4	学校は、児童が進んで読書するように指導・配慮している。	評価	B
---	-----------------------------	----	---

保護者	○	低学年児童	△	高学年児童	△	職員	○
-----	---	-------	---	-------	---	----	---

評価をBとしましたが、高学年の読書時間が短いことが大きな要因です。この項目は、学校の最重点目標になっていますが、今年度については十分に成果があったとは言えません。今年度は、読書が苦手な児童への個別指導・支援として図書館司書と連携し、「本の読み聞かせ」「家庭における読書の習慣化」「家庭への啓発」を実施しました。また、読書量が多い児童に「読書賞」を授与する取組を行いました。が、「読書賞受賞者」の目標を全校児童の30%以上としていましたが、目標には届きませんでした。読書活動の推進については、重要な目標と捉え、来年度も継続して進めるため計画を見直します。また、「読書が苦手な児童への個別指導・支援」の方法を再検討します。

5	学校は、授業や家庭での学習にICT機器(タブレット)を活用している。	評価	A
---	------------------------------------	----	---

保護者	○	低学年児童	○	高学年児童	○	職員	○
-----	---	-------	---	-------	---	----	---

今年度様々な取組にチャレンジしました。1年生から6年生まで、授業、宿題から学校行事まで、教員と児童のアイデアを生かし活用を図りました。職員のICT活用のスキルを向上させる研修については、ICT指導員の活用で職員の研修が進みました。リモート授業の実践については、家庭で過ごしている児童に実施できるようになりました。

○思いやりのある子どもについて

6	児童は挨拶や返事がきちんとできる。	評価	A
---	-------------------	----	---

保護者	○	低学年児童	○	高学年児童	○	職員	△
-----	---	-------	---	-------	---	----	---

児童は、あいさつがよくできています。課題は、見知った人には、あいさつができていますが、学校への来客やボランティアの方などへのあいさつの状況があまりよくないことです。「あいさつ運動」等を通して来年度も指導を継続していきます。

7	児童は、「道徳」やその他の活動をとおして思いやりの心が育っている。	評価	A
---	-----------------------------------	----	---

保護者	○	低学年児童	△	高学年児童	△	職員	○
-----	---	-------	---	-------	---	----	---

友だちに親切にしてあげたことがありますか。

保護者	△	低学年児童	○	高学年児童	○	職員	△
-----	---	-------	---	-------	---	----	---

友だちのよいところや自分のよいところを見つけられましたか。

保護者	△	低学年児童	○	高学年児童	○	職員	△
-----	---	-------	---	-------	---	----	---

高い評価をいただいています。継続して取り組みます。

8	学校は、いじめの防止や早期発見に十分努めている。	評価	A
---	--------------------------	----	---

保護者	○	低学年児童	△	高学年児童	△	職員	○
-----	---	-------	---	-------	---	----	---

定期的な「いじめアンケート」、「いじめ・いじわる撲滅運動」を推進していきます。「道徳科」や「諸活動」においても、思いやりの心や命を大切にする心を培っていきます。

○健康で明るい子どもについて

9	学校は、体育の授業や体育的行事(運動会・マラソン大会等)、休み時間の遊びをとおして運動に親しみ、体力向上を推進している。	評価	A
	保護者 ☐ 低学年児童 ☐ 高学年児童 ☐ 職員 ☐		

運動や外あそびは楽しいと思いますか。

保護者	☒	低学年児童	☐	高学年児童	☐	職員	☒
-----	-------------------------------------	-------	-----------------------	-------	-----------------------	----	-------------------------------------

肯定的評価をいただけたことを受け、より子供たちが充実した活動ができるよう、今後も努めてまいります。

10	学校は家庭に対して、児童の保健衛生に関する情報提供に努め、協力して児童の健康増進に取り組んでいる。	評価	A
	保護者 ☐ 低学年児童 ☒ 高学年児童 ☒ 職員 ☐		

給食をがんばって食べましたか。

保護者	☒	低学年児童	☐	高学年児童	☐	職員	☒
-----	-------------------------------------	-------	-----------------------	-------	-----------------------	----	-------------------------------------

引き続き、「健康」の増進が図られるよう努めていきます。給食指導については、食物アレルギーや体調の悪い児童が疎外感を持たないように配慮して推進します。
ゲームやYou tube視聴等で就寝が遅くなる、早朝からゲームやYou tube視聴等をするなど生活のリズムがくずれ、体調を崩したり、登校がづらくなったりすることが見られます。学校での指導と家庭への啓発を推進します。

○喜んで働く子どもについて

11	児童の「勤労観」や「職業観」などが十分育成されている。	評価	B
	保護者 ☐ 低学年児童 ☒ 高学年児童 ☒ 職員 ☐		

新型コロナウイルス感染症対策のため、職業調べや職場体験などの地域の方々のご協力を得て実施する学習が中止や縮小となったため、評価をBとしました。来年度は実施に向け、準備を行っていきます。

12	学校は、児童一人一人のキャリア形成と自己実現の指導に努めている。	評価	A
	保護者 ☐ 低学年児童 ☒ 高学年児童 ☒ 職員 ☐		

そうじや給食のじゅんぴをがんばっていますか。

保護者	☒	低学年児童	☐	高学年児童	☐	職員	☒
-----	-------------------------------------	-------	-----------------------	-------	-----------------------	----	-------------------------------------

係や委員会活動にすすんで活動していますか。

保護者	☒	低学年児童	☒	高学年児童	☐	職員	☒
-----	-------------------------------------	-------	-------------------------------------	-------	-----------------------	----	-------------------------------------

清掃や作業など児童は、しっかりと活動できています。職業などにも興味を持てるように指導しています。

○安全、生活、家庭との連携

13	学校は、通学路の安全や交通安全対策に努めている。	評価	A
	保護者 ☐ 低学年児童 ☒ 高学年児童 ☒ 職員 ☐		

交通ルールを守って登下校していますか。

保護者	☒	低学年児童	☐	高学年児童	☐	職員	☒
-----	-------------------------------------	-------	-----------------------	-------	-----------------------	----	-------------------------------------

通学路の安全点検、登校時の見守り活動を実施しました。交通安全教室等の安全指導も実施しました。引き続き、連携・協力を推進していく事が重要と捉えています。

14	学校は、学校施設の安全や子どもの活動の安全対策に努めている。	評価	A
----	--------------------------------	----	---

保護者	○	低学年児童	／	高学年児童	／	職員	○
-----	---	-------	---	-------	---	----	---

これからも安全点検等による安全・安心な学校をめざしていきます。

15	児童は、学校に行くことを楽しいと感じている。	評価	A
----	------------------------	----	---

保護者	○	低学年児童	○	高学年児童	○	職員	○
-----	---	-------	---	-------	---	----	---

ほとんどの児童が「楽しい」と感じています。しかし、「学校が楽しくない」と感じている児童が少数ですがいることを重要視して「児童への生活アンケート・いじめ・セクハラ調査」、「相談活動」を充実させて学校が楽しくないと感じている児童の減少に努めます。

16	児童は、基本的な生活習慣(早寝・早起き・朝ご飯)が身についている。	評価	A
----	-----------------------------------	----	---

保護者	○	低学年児童	／	高学年児童	／	職員	△
-----	---	-------	---	-------	---	----	---

学校のきまりややくそくを守って生活していますか。

保護者	／	低学年児童	○	高学年児童	○	職員	／
-----	---	-------	---	-------	---	----	---

児童の健康、授業への集中のため、学校でも基本的な生活習慣の定着を指導しています。きまりを守って、生活できることは社会生活・集団生活に不可欠なことです。規範意識を醸成できるよう集団生活の人間関係を軸に、「道徳」教育、日常の生活指導を充実させます。

17	学校は、児童や保護者からの相談に対して適切に対応している。	評価	A
----	-------------------------------	----	---

保護者	○	低学年児童	／	高学年児童	／	職員	○
-----	---	-------	---	-------	---	----	---

学校のことをお家の人にはなしていますか。

保護者	／	低学年児童	○	高学年児童	○	職員	／
-----	---	-------	---	-------	---	----	---

学校でこまったことは先生に話すようにしていますか。

保護者	／	低学年児童	○	高学年児童	○	職員	／
-----	---	-------	---	-------	---	----	---

児童や保護者からの相談については、誠実に対応することを心がけています。児童は、思春期に入ると保護者や教師に相談しなくなる傾向があるので、相談週間やスクールカウンセラーを活用し、学校から積極的に教育相談活動を実践していきます。

18	学校は保護者や児童の個人情報の保護・管理に努力している。	評価	A
----	------------------------------	----	---

保護者	○	低学年児童	／	高学年児童	／	職員	○
-----	---	-------	---	-------	---	----	---

学校は、お預かりした個人情報を適切に管理し、目的外の使用がないように努力しています。不要になった個人情報は、適切に廃棄しています。

19	学校は、「学校だより」「学級だより」「保健だより」等の配付や「ホームページ」等で学校の様子や教育活動をわかりやすく伝えている。	評価	A
----	---	----	---

保護者	○	低学年児童	／	高学年児童	／	職員	○
-----	---	-------	---	-------	---	----	---

連絡帳をきちんと書いて家の人に見せていますか。

保護者	／	低学年児童	○	高学年児童	○	職員	／
-----	---	-------	---	-------	---	----	---

引き続き、おたよりやホームページ、学校情報配信「TETORU」を活用し、学校の様子をお知らせしていきます。

○特別支援教育について

20	学校は、特別な支援が必要な児童に対し、個別の支援・指導に努めている。	評価	A
----	------------------------------------	----	---

保護者	○	低学年児童	高学年児童	職員	○
-----	---	-------	-------	----	---

自分とちがう考えや行動をする友だちのことを大切にしていますか。

保護者		低学年児童	高学年児童	○	職員	
-----	--	-------	-------	---	----	--

友だちのよいところや自分のよいところをみつけられましたか。

保護者		低学年児童	高学年児童	○	職員	
-----	--	-------	-------	---	----	--

個性豊かな児童の教育のため、本校では生活上や学習上の発達課題やコミュニケーション力の向上を図るため、特別支援教育に重点をおいています

○不祥事防止について		評価	A
------------	--	----	---

学校は、「不祥事ゼロ」をめざして意識改革に努め、効果的な研修を行っている。

保護者		低学年児童	高学年児童	職員	○
-----	--	-------	-------	----	---

「不祥事ゼロ宣言」を掲げ、不祥事防止研修を月に1回のペースで実施しています。またコンプライアンス意識啓蒙のための新聞記事や不祥事事例等を職員に配布し、研修を行っています。

○働き方改革について		評価	A
------------	--	----	---

(職員は)意識して時間外勤務を削減しようとしている。

保護者		低学年児童	高学年児童	職員	○
-----	--	-------	-------	----	---

時間外勤務45時間を超える職員が月平均で5人となっているのでさらなる働き方改革が必要です。学校評議員より「タブレットの活用等が進んでいるが、教職員のICT研修が大変だ」という評価もいただいています。

1 保護者アンケート結果

※ アンケートに対して、(とても思う:4 思う:3 あまり思わない:2 思わない:1)で回答を頂きました。
 4と3を肯定的回答、2と1を否定的回答としました。
 ※評価(点)は、各回答の平均/4*100点としました。

区分	番号	アンケート項目	肯定的 (%)	否定的 (%)	評価 (点)
進んで学習する子ども	1	児童は授業に取り組む姿勢・ルールが身についてきている。	88%	12%	80.3
	2	宿題や家庭学習の習慣が身に付いてきている。	81%	19%	77.3
	3	学校は、学習の基礎・基本となる計算や漢字などが身に付くように指導している。	94%	6%	82.2
	4	学校は、児童が進んで読書するように指導・配慮している。	74%	26%	75.2
	5	学校は、授業や家庭での学習にICT機器(タブレット端末)を活用している。	91%	9%	82.2
思いやりのある子ども	6	児童は挨拶や返事がきちんとできる。	91%	9%	82.3
	7	児童は、「道徳」やその他の活動をとおして思いやりの心が育っている。	91%	9%	81.2
	8	学校は、いじめの防止や早期発見に十分努めている。	87%	13%	79.4
健康で明るい子ども	9	学校は、体育の授業や体育的行事(運動会・マラソン大会)、休みの時間の遊びをとおして運動に親しみ、体力向上を推進している。	95%	5%	86.2
	10	学校は家庭に対して、児童の保健衛生に関する情報提供に努め、協力して児童の健康増進に取り組んでいる。	97%	3%	84.9
喜んで働く子ども	11	児童の「勤労観」や「職業観」などが十分育成されている。	81%	19%	74.4
	12	学校は、児童一人一人のキャリア形成と自己実現の指導に努めている。	87%	13%	76.7
安全、生活、家庭との連携	13	学校は、通学路の安全や交通安全対策に努めている。	91%	9%	81.6
	14	学校は、学校施設の安全や子どもの活動の安全対策に努めている。	97%	3%	83.1
	15	児童は、学校に行くことを楽しいと感じている。	92%	8%	85.8
	16	児童は、基本的な生活習慣(早寝・早起き・朝ご飯)が身についている。	80%	20%	79.4
	17	学校は、児童や保護者からの相談に対して適切に対応している。	96%	4%	84.3
	18	学校は、連絡帳・電話・学校配信メール等で家庭との連絡・連携を図っている。	98%	2%	85.5
	19	学校は、「学校だより」「学級だより」「保健だより」等の配付や「ホームページ」等で学校の様子や教育活動をわかりやすく伝えている。	97%	3%	84.8
教支特育援別	20	学校は、特別な支援が必要な児童に対し、個別の支援・指導に努めている。	94%	6%	84.6

2 児童アンケート結果(低学年)

※ アンケートに対して、(とても思う:4 思う:3 あまり思わない:2 思わない:1)で回答を頂きました。

4と3を肯定的回答、2と1を否定的回答としました。

※評価(点)は、各回答の平均/4*100点としました。

区分	番号	アンケート項目	肯定的 (%)	否定的 (%)	評価 (点)
進んで学習する子ども	1	じゅぎょう にとりくむしせい・ルールは、まもっていますか。	98%	2%	86.2
	2	しゅくだいはわすれずにやっていますか。	100%	0%	93.5
	3	かんじ やけいさんなどをがんばっていますか。	96%	4%	90.6
	4	がっこうやいえですすんで本 ^{ほん} をよんでいますか。	67%	33%	73.2
	5	タブレットをつかったべんきょうはたのしいですか。	95%	5%	91.8
思いやり ある子ども	6	あいさつやへんじがきちんとできていますか。	90%	10%	87.5
	7	ともだちにしんせつにしてあげたことがありますか。	90%	10%	86.6
	8	ともだちのよいところやじぶんのよいところをみつけられましたか。	81%	19%	81.9
健康で 明るい 子ども	9	たいいくややすみじかんなどはすすんでからだをうごかしましたか。	98%	2%	93.5
	10	うんどうや外 ^{そと} あそびはたのしいとおもいますか。	96%	4%	93.9
	11	きゅうしよくをがんばってたべましたか。	82%	18%	83.8
子ども 喜んで 働く	12	そうじやきゅうしよくのじゅんぴをがんばっていますか。	98%	2%	90.4
安全、 生活、 家庭と の連携	13	こうつうルールをまもってとうげこうしていますか。	100%	0%	92.1
	14	がっこうせいかつはたのしいですか	88%	12%	86.2
	15	がっこうのきまりややくそくをまもってせいかつしていますか。	93%	7%	88.8
	16	がっこうのことをおうちの ^{ひと} 人にはなしていますか。	78%	22%	81.0
	17	がっこうでこまったことはせんせいにはなすようにしていますか。	84%	16%	80.7
	18	れんらくちょうをきちんとかいて家 ^{いえ} の ^{ひと} 人にみせていますか。	90%	10%	89.2

3 児童アンケート結果(高学年)

※ アンケートに対して、(とても思う:4 思う:3 あまり思わない:2 思わない:1)で回答を頂きました。

4と3を肯定的回答、2と1を否定的回答としました。

※評価(点)は、各回答の平均/4*100点としました。

区分	番号	アンケート項目	肯定的 (%)	否定的 (%)	評価 (点)
進んで学習する子ども	1	授業にとりくむ姿勢・ルールはまもっていますか。	92%	8%	80.7
	2	家での学習(宿題や家庭学習など)に進んで取り組んでいますか。	70%	30%	74.3
	3	漢字や計算などがんばって取り組んでいますか。	81%	19%	81.1
	4	学校や家ですすんで本をよんでいますか。	51%	49%	62.2
	5	タブレットをつかった勉強は楽しいですか。	82%	18%	82.8
思いやり あふれる 子ども	6	あいさつや返事がきちんとできていますか。	89%	11%	83.4
	7	友達に親切にしてあげたことがありますか。	89%	11%	86.8
	8	友達のよいところや自分のよいところを見つけられましたか。	86%	14%	80.7
健康で 明るい 子ども	9	体育や休み時間などはすすんで体を動かししましたか。	74%	26%	78.4
	10	運動や外あそびは楽しいと思いますか。	85%	15%	85.5
	11	給食をがんばって食べましたか。	82%	18%	83.2
喜んで 働く 子ども	12	そうじや給食のじゅんびをがんばっていますか。	96%	4%	84.6
	13	係や委員会活動にすすんで活動していますか。	94%	6%	88.4
認め合う	14	自分とちがう考えや行動をする友だちのことを大切にしていますか。	91%	9%	85.1
安全、生活、 家庭との 連携	15	交通ルールを守って登下校していますか。	97%	3%	89.7
	16	学校生活は楽しいですか。	86%	14%	84.5
	17	学校のきまりややくそくを守って生活していますか。	95%	5%	86.1
	18	学校のことをお家の人にはなしていますか。	81%	19%	82.4
	19	学校でこまったことは先生に話すようにしていますか。	74%	26%	75.0
	20	連絡帳をきちんと書いて家の人に見せていますか。	84%	16%	81.1

4 職員アンケート結果

※ アンケートに対して、(とても思う:4 思う:3 あまり思わない:2 思わない:1)で回答を頂きました。

4と3を肯定的回答、2と1を否定的回答としました。

※評価(点)は、各回答の平均/4*100点としました。

区分	番号	アンケート項目	肯定的 (%)	否定的 (%)	評価
進んで学習する子ども	1	児童は授業に取り組む姿勢・ルールが身についてきている。	100%	0%	86.5
	2	児童は、宿題や家庭学習の習慣が身に付いてきている。	100%	0%	88.6
	3	学習の基礎・基本となる計算や漢字などが身に付くように指導している。	100%	0%	85.4
	4	児童が進んで読書するように指導・配慮している。	100%	0%	85.4
	5	授業や家庭での学習にICT機器(タブレット端末)を活用している。	92%	8%	81.3
あ思い る子 やど りも	6	児童は、挨拶や返事がきちんとできる。	64%	36%	67.9
	7	児童は、「道徳」やその他の活動をとおして思いやりの心が育っている。	100%	0%	79.2
	8	学校は、いじめの防止や早期発見に努めている。	100%	0%	94.6
健康で 明るい 子ども	9	児童は、体育の授業や体育的行事(運動会・マラソン大会)、休み時間の遊びをとおして運動に親しみ、体力向上を推進している。	100%	0%	91.1
	10	学校は、家庭に対して、児童の保健衛生に関する情報提供に努め、協力して児童の健康増進に取り組んでいる。	100%	0%	96.4
く喜 子ん ども も働	11	児童の「勤労観」や「職業観」などが育成されている。	85%	15%	75.0
	12	児童一人一人のキャリア形成と自己実現の指導に努めている。	100%	0%	79.2
安全、 生活、 家庭 との 連携	13	学校は、通学路の安全や交通安全対策に努めている。	100%	0%	94.6
	14	学校は、学校施設の安全や子どもの活動の安全対策に努めている。	100%	0%	100.0
	15	児童は、学校に行くことを楽しいと感じている。	100%	0%	84.6
	16	児童は、基本的な生活習慣(早寝・早起き・朝ご飯)が身に付いている。	79%	21%	73.2
	17	学校は、児童や保護者からの相談に対して適切に対応している。	100%	0%	92.9
	18	学校は、連絡帳・電話・学校配信メール等で家庭との連絡・連携を図っている。	100%	0%	98.2
	19	「学校だより」「学級だより」「保健だより」等の配付や「ホームページ」等で学校の様子や教育活動をわかりやすく伝えている。	100%	0%	98.2
教支特 育援別	20	特別な支援が必要な児童に対し、個別の支援・指導に努めている。	100%	0%	92.9
不祥 事防 止	21	学校は、「不祥事ゼロ」をめざして意識改革に努め、効果的な研修を行っている。	100%	0%	98.2
働 き方 改 革	22	意識して時間外勤務を削減しようとしている。	100%	0%	83.9

学校関係者評価

琴田小学校学校評議員会

I 進んで学習する子ども ○文化祭を参観したとき、児童が修学旅行や地域のことなどを発表していた。先生方は子どもたちの発表をせかすことなくじっくり待って自ら学ばせようとしている。 ○タブレットを使っでの学習が進んでいるようで子どもにとってはいいことである。 ○学校外の者から見ると人的にも金銭的にも大変だなと感じる。事務や会計などの図書館司書のような専門的な人員を学校に配置するべきである。 ○授業を見ていると自主性が感じられる。個別に子どもたちへの指導で有効な手立て、全体で自主性が育つような後押しをしている。
II 思いやりのある子ども ○SNSの誹謗中傷などが問題になっているようだが、文字だけのやりとりだとニュアンスがうまく伝わらずトラブルになることも多い。ことばの大切さを取り上げる授業や人権教育でのロールプレイング、インクルーシブ教育などの教材を取り上げ、子どもたちなりに人間関係を理解させる機会を設けていってほしい。それには学校だけでなく、家庭の協力も必要となる。 ○外国籍の子への偏見、LGBTなどへの対応は必要になってくる。
III 健康で明るい子ども 記載なし
IV 喜んで働く子ども 記載なし
V 安全、生活、家庭との連携 ○安全面で気になるところで防犯灯や用水路沿いの柵などは、市に対策してもらえた。 ○今後も地域を歩いて何かあれば市へ呼びかけたい。
VI 特別支援教育 記載なし
VII 不祥事防止・働き方改革 ○タブレットの運用が始まってから、指導する方は大変なのではないか。先生方の負担となっていないか心配している。 ○働き方改革を推進するためには人を増やさなければいけないと感じる。 ○家庭でやるべきことまで学校に任されている。働き方改革を進めるためには何かを割り切っていないかなければならない。 ○学校単独では限りがある。
その他 ○地域の行事は、コロナ等でなかなか学校と一緒に開催できないが、今後できるものは行いたい。 ○学校評価・・・正しく評価するためにも学校評議員が子どもの様子を見る機会を増やしてほしい。